

## 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会（令和3年度第3回）議事要旨

### 1 開催日時

令和4年2月7日（月）10時00分～12時00分

### 2 開催場所

WEB会議

### 3 出席者

(1) 委員（敬省略、順不同）

田村 昌三（座長）、朝倉 浩一、新井 充、岩田 雄策、芝田 育也、高橋 文夫、鶴田 俊、  
三宅 淳巳、

(2) オブザーバー（敬省略、順不同）

濱口 千絵（経済産業省）、樋渡 智咲（厚生労働省）

(3) 事務局

中本 敦也、鈴木 知基、平野 修弘、昆 慧明

### 4 配布資料

(資料Ⅲ-1) 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会（令和3年度第2回）  
議事要旨

(資料Ⅲ-2) 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書（案）

(資料Ⅲ-3) 令和4年度火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会スケジュール（案）

### 5 開会

### 6 議事内容

(1) 第2回議事要旨について

資料Ⅲ-1により事務局から説明が行われた。

意見等はなし。

- (2) 「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書（案）」について  
資料Ⅲ－2により事務局から説明が行われた。  
意見等の概要は以下のとおり。

【座 長】 報告書として問題ないと考える。

- (3) その他

資料Ⅲ－3により事務局から説明が行われた。  
意見等の概要は以下のとおり。

【事 務 局】 来年度の火災危険性を有するおそれのある物質及び消防活動阻害性を有するおそれのある物質の検討については、従来の調査方法に加えて、社会的影響についても考慮していきたいと考えている。その際は検討会の中で協議をし、ご審議をいただきたい。

【委 員】 火災危険性を有するおそれのある物質等の検討方法の見直しについてだが、厚生労働省と経済産業省では化学物質の規制が見直され、計画では5年後に特定化学物質障害予防規則を廃止して新しい管理体型に変わるという話が出ている。この計画が考慮されたということか。

【事 務 局】 今のところ、他省庁の計画を含めているものではない。先ほど説明した社会的影響についてだが、生産量及び流通量を調査する中で、1社のみでしか製造されておらず、その工場の中でしか使用されていないような物質があった場合に、その物質を危険物もしくは消防活動阻害物質として指定することは適切かどうかの疑義が生じたため、検討していきたいと考えている。

【座 長】 社会的影響について検討することは良い方向である。しかしながら、社会的影響については様々な視点があるため、その点をうまく整理し、あらかじめ各委員の意見を聞くなどし、各委員の意見を考慮する形で検討していただきたい。

【事 務 局】 承知した。

以上

## 7 閉会